

取扱説明書

1-4492-01

天秤用クリーンフード TBC-900

お買い上げ有り難うございます。

この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして誠に有り難うございます。
本製品をより安全に、また、良好な状態でご使用いただくために、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。





また、製品を未永くご使用いただくために、この「取扱説明書」は大切に保管してください。
本品を譲渡・貸与される時には、新しい使用者が安全な正しい使い方を知るために、この取扱い説明書を、製品本体と共に必ずお渡しください。

 **アズワン株式会社**

安全上のご注意

この取扱説明書では製品を安全に、正しくご使用いただき、事故や損害を未然に防ぐため、安全上特に注意すべき事項についての情報を、その重要度や危険度によって下記のような警告表示で定義しますので、これらの指示に従って、安全にご使用いただくようお願い申し上げます。

各警告表示の定義

	危険	取扱いを誤ると、死亡または重症を負う可能性があります。
	警告	取扱いを誤ると、重度の人身事故・製品の破損の原因となることがあります。
	注意	取扱いを誤ると、軽度の人身事故・製品の破損の原因となることがあります。
	お願い	安全を確保するために注意が必要な事項。





いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守り下さい。

安全確保の図記

	特定しない、一般的な注意、警告、禁止事項		分解及び改造により感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止
	機器の特定の場所に触れると傷害が起こる可能性がある場合の禁止		感電の危険性の注意
	高温による傷害が起こる可能性がある場合の注意		破裂、爆発の危険性の注意
	指を挟みこむ危険がある場合の注意		ファン等に巻き込まれる危険性の注意
	特定しない一般的な使用者の行為		アース線の接続の指示







<設置上の安全に関する注意>





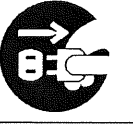
製品の設置にあたっては、安全な使用と製品の機能を十分に発揮させるため、次の項目をよくお読みの上、適切な場所をお選びください。

 警告	
	<ul style="list-style-type: none"> ・60℃以上の高温物体（乾燥機等）に近接しないところでご使用下さい。本体が変形する恐れがあります。 ・近くに引火性の固体・液体・気体のないところ。
 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ・結露しないところ。 ・水平で安定したところ。 ・湿気の少ないところ及び水滴のかからないところ。 ・直射日光のあたらないところでご使用下さい。アクリル板が、変色、変形、劣化する恐れがあります。 ・電源コードは、足を引っ掛けないようなところにとりまわしてください。

※この製品を屋外で使用することは避けてください。

<使用上の安全に関する注意>

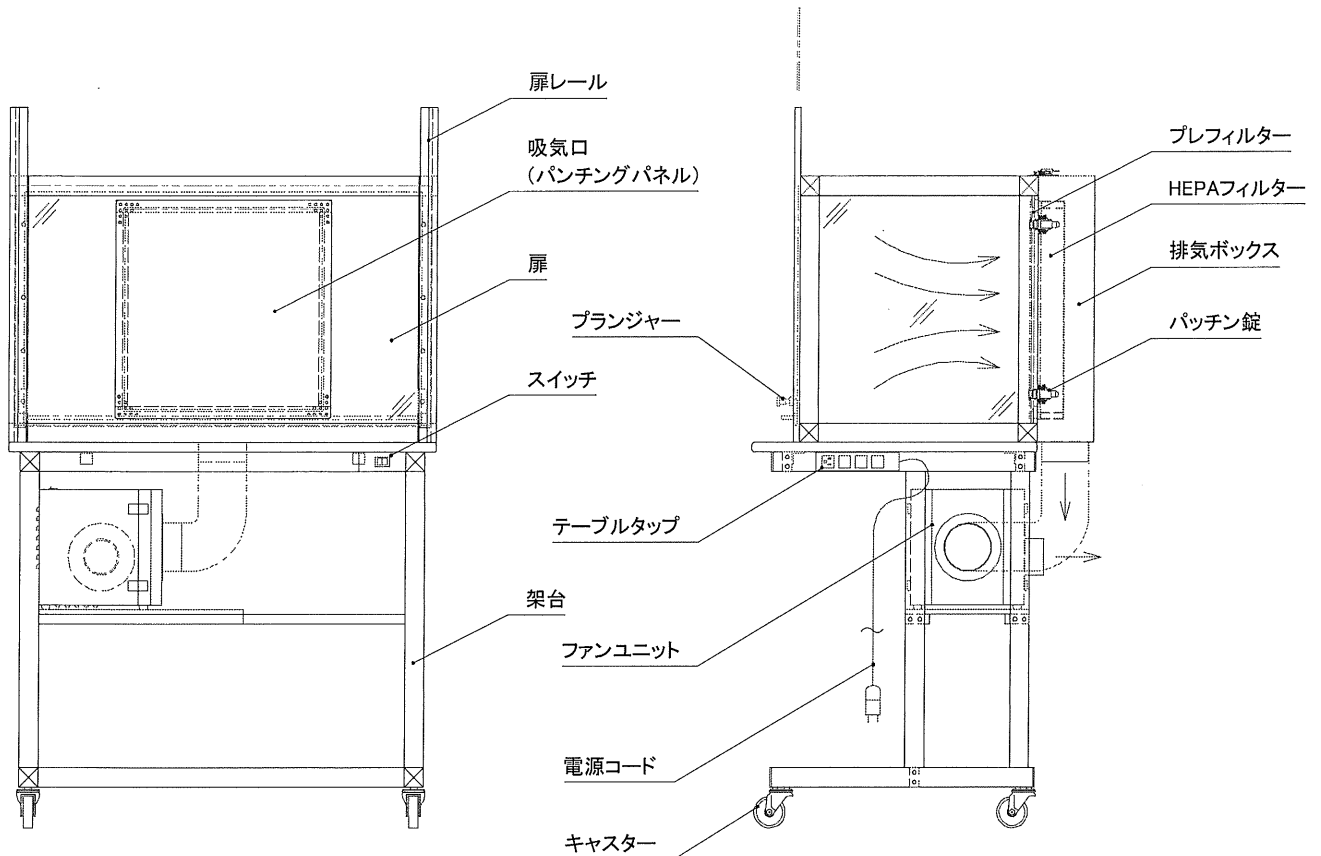
 警告	
	<ul style="list-style-type: none"> ・改造及び分解はしないでください。改造及び分解したものを使用して事故がおきた場合、当方は一切の責任を負いかねます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ガスバーナーは使用しないでください。 ・本品のファンユニットは防爆構造ではありませんので、引火性・爆発性のガスは絶対に吸引させないでください ・爆燃性粉塵危険場所や可燃性粉塵危険場所での使用、及び、それらの粉塵の吸引・吸着は絶対に行わないでください。 ・本製品のテーブルタップを使用する時は、接続される機器の合計電流が12Aを越えないようにしてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒーターを使用するときは、フード中央で使用し、フード内の温度が45℃を超えないようにしてください。また、扉は全閉にはしないでください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・濡れた手でスイッチの操作はしないでください。感電の恐れがあります。 ・電源コードや指し込みプラグが傷んだり、コンセントの指し込みがゆるい時は、使用しないでください。ショートや感電の恐れがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・アースは必ず接続してください。アースを接続されないと感電事故の原因となります。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ・扉や各パネル部は、酸類（クローム酸等）・有機溶剤（アセトン、キシレン、クロロホルム、アルコール類、酢酸等）に侵されますので、これらの薬品と接触させないでください。 ・AC100V 以外では使用しないでください。 ・排気口には必ずダクトホースを接続してください。また、ホース口は確実に奥まで差し込んで下さい。ダクトホースを接続しないと排気口が露出して危険です。
	<ul style="list-style-type: none"> ・扉をロックする時は、扉のプランジャーを、レールの溝に確実に入れてください。 ・扉を開閉するときは、ゆっくり開閉してください。又、扉で手などを挟まないように注意してください。乱暴に扉を開閉するとレール及び取手が破損する恐れがあります。 ・扉の可動部分や、取手の可動部分に触れないようにしてください。指を挟む恐れがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・扉や各パネル部に強い衝撃を与えたり無理な力を加えると、割れやクラックが生じたりケガをする恐れがありますので、これらの部分は丁寧に扱ってください。 ・ファンユニットの通気口はふさがないようにしてください。 ・ヒューズは定型外のものに入れ替えないでください。また、ヒューズが切れた場合、内部回路の異常と考えられますから、修理を依頼してください。 ・ダクトホースを配管する際は、ファンユニットの排気口に力が加わらないようにして下さい。ダクトホースが抜ける恐れがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間使用しない時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。又、電源プラグを抜く時は、コードを持たずに抜いてください。

<製品概要>

- ・本製品は、ファンユニットを搭載しており、フード内に浮遊、拡散する粉塵等を捕集し、プレフィルターHEPA フィルターを通り作業域から排出されます。

<外観>



<取扱い方法>

・扉の開閉位置を変える時は、扉の左右にあるプランジャーを引き、扉を開閉させ扉レールの穴にプランジャーを引っかけてください。

※本器はフード内に浮遊する粉体等を吸収し、排気する物です。作業台等に落下した物を吸引排気する物ではありません。

本器は粉塵防爆構造器具ではありません。爆燃性粉塵危険場所や可燃性粉塵危険場所での使用、又は、それらの粉塵の吸引、吸着は行わないでください。



<ご使用方法>

1. 「設置上の安全に関する注意の条件を満たすところ」に、本品を置いてください。
2. 架台部に上図のように排気ファンユニットを設置し、ファンユニットの電源プラグを架台部天板裏面にあるプラグ型コンセントに接続してください。
3. ファンユニットの吸込口と排気ボックスを付属のダクトホースで接続しホースバンドで固定してください。
4. ファンユニットの排気口にダクトホースφ100mm(別売)をつなぎ、出口を屋外等に出してください。ダクトホースは最短距離で曲がり箇所が少なくなるように配管をおこなってください。
5. 本体の電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込んでください。
排気ファンユニットの電源スイッチを常時ONにしておきますと架台前部のスイッチでファンユニットを動作/停止させる事ができます。

<使用上の注意>

前面扉の開閉はゆっくり行って下さい。勢いよく、開閉させると扉や扉レール部分が破損することがあります。前面扉の角部や扉レールの上端は角張っておりますのでけがをしない様、注意してください。

<プレフィルターの掃除・交換、HEPA フィルターの交換について>

 警告	
	・操作スイッチを OFF にして、本体の電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。

プレフィルターの掃除

1. フード内部から吸気口のパンチングパネルを固定しているビス（計4箇所）を緩めてパンチングパネルを取り外してください。
2. 背面パネルから、プレフィルターを取り出してください。
3. 掃除機等を使用して付着した粉やホコリを吸い取ってください。また、汚れのひどい時は、水洗いして十分乾燥させた後、ユニット本体にプレフィルターを入れてください。
※ろ材の損耗を防ぐため、もみ洗いしたり、強く絞ったりしないでください。また、洗浄後は自然乾燥をしてください。尚、中性洗剤を使用すると油性の粉体を除去することができます。
4. 取り外しの逆の手順でプレフィルターを入れてください。

HEPA フィルターの交換

※交換作業は安全のため2名以上でおこなってください。

1. 本体背面の排気ボックスとファンユニットを接続しているダクトホースを取り外してください。
2. 排気ボックスを本体フレームに固定しているパッチン錠（計7箇所）を緩めて排気ボックスを取り外してください。
3. 排気ボックス本体から取り外すと、背面パネルに固定されている HEPA フィルターが現れますので HEPA フィルターを固定しているナット（合計4箇所）を緩めて背面から抜き取ってください。
4. 新しい HEPA フィルターのアルミガード面を手前にして（パッキン側を本体背面パネル側）フィルターをへこませないように注意しながら周囲のアルミ枠部分を持ってネジに差し込み、4箇所とも均等になるようにナットを締めてください。
※フィルターをネジに差し込む際はネジ部に余分な負荷がかからないように注意して差し込んでください。
5. 以上で交換作業は完了です。上記逆の手順で排気ボックスを固定し、ダクトホースを接続してください。

<フィルター交換の目安>

プレフィルター

- ・使用条件、使用頻度、捕集する粉体により異なりますが、フィルタ性能物性の低下を防ぐため、3～5 回程度の洗浄後、新しいプレフィルターと交換してください。
- ・使用後のプレフィルターは産業廃棄物の廃プラスチック類に該当します。






HEPA フィルター

- ・HEPA フィルターの寿命は使用環境によって大きく左右されます。その為、定期的に吹出し風速を測定し所定の風速が確保できなくなるか、極端に風速が落ちてきた場合にはフィルター交換を実施してください。

<お手入れについて>

清掃は、お湯又は水を硬く絞った柔らかい布で拭いてください。

取れにくい汚れは、中性洗剤を使用し、洗剤の使用後は布で拭きとってください。

 警告	
	・お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
	・清掃する場合は、外装や内部に直接水をかけたりしますと漏電、感電等の事故原因になりますので、絶対にしないでください。
 注意	
	・クレンザー（磨き粉）、シンナー、灯油、酸等、及びこれに類するものは、絶対に使用しないでください。

<仕様>

本体

外寸 mm	W900×D720×H1490
フード部フレーム材質	アルミ型材耐食アルマイト処理
コーナージョイント材質	ABS 樹脂成形品
扉及びパネル材質	アクリル板・エンビ板
架台フレーム材質	鋼管 焼付塗装仕上げ
プレフィルター	412×412×6mm 粗塵用
HEPA フィルター	450×450×50mm 0.3 μ m 粒子 99.97%以上捕集
付属品	ϕ 100 ダクトホース 0.5m ϕ 100 ホースバンド

ファンユニット

外装材質	鋼板 焼付塗装仕上げ
電源	AC100V 50/60Hz
最大風量（ファン単体）	約 6.7/5.8m ³ /min 50/60Hz
最大静圧（ファン単体）	約 0.36/0.5kPa 50/60Hz

<付録>

粉塵の分類例

粉塵 発火度	爆燃性粉塵	可燃性粉塵	
		導電性のもの	非導電性のもの
11	マグネシウム、 アルミニウム、 アルミニウムブロンズ	亜鉛、チタン、 コークス、 カーボンブラック	小麦、とうもろこし、 砂糖、ゴム、染料、 ポリエチレン、 フェノール樹脂
12	アルミニウム（含脂）	鉄、石炭	ココア、リグリン、 米ヌカ
13			硫黄

アズワン株式会社

■商品についてのお問い合わせは

カスタマー相談センター

フリーダイヤル  0120-700-875

FAX 0120-700-763

問い合わせ
専用URL

<http://help.as-1.co.jp/q>

受付時間:午前9時～12時、午後1時～5時30分
土・日・祝日及び弊社休業日はご利用できません。

初版 2008年12月作成